

事業報告書

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

公益財団法人 和敬塾

1. 事業の概要

本年度におきましても、建塾の趣意に則り、その目的を達成するために「公益財団法人和敬塾 定款」第4条の各事業を行いました。

本年は、新たな時代の要請に応える人間形成を目指し、近年取り組んでまいりました共同生活の質の向上に更に力を傾注し、「和敬塾設立趣意書」並びに財団設立の趣旨である「共同生活を通じた人間形成の場」を本旨として、よりよい徳育教育の場を作り、広く社会に和敬塾の存在を知らしめ、多くの塾生の迎え入れと輩出を図るべく、塾役職員並びに塾生が一体となって取り組みました。次に、実施しました事業の活動の概況等を項目別にご報告致します。

(1) 学生寮並びに研修施設・体育施設・生活施設の運営（1号事業）

①共同生活の場である各施設的良好なる状態の維持の為の改修工事等

- * 厨房天井改修工事第一期、東寮防水工事、学生ホール FRP 水槽工事、学生ホール揚水ポンプ交換工事を行なった。
- * 空調設備、電気設備、エレベーター、給排水ポンプ、ボイラー、消防設備、特殊建物等の各種保守点検を行なった。
- * 空調機等の修理並びに取り換え工事を行なった。
- * 保護樹木の剪定を行なった。

②現有施設有効利用の検討

- * 異寮地下ホール並びに西寮地下ホールの外部への貸出を試みた。

(2) 入寮学生の共同生活による修養、研鑽への援助（2号事業）

①入塾式、塾祭、体育祭、予餞会、シンポジウム、日本伝統歳事の実施

- * 新入生受入れ行事、創立記念塾祭、各寮対抗競技の体育祭、予餞会の四大大行事を企画し実行することによって自主性、協調性を養い、自らの人間形成に資するよう実施した。
- * これらの行事は後述の月別実施経過の通り、塾生委員会を中心として活発に行なった。

②教養講座の開催並びに活性化

- * 入塾式の一環として教養講座紹介フェアを開催し、在塾生が中心となって模範演技等を行い各教養講座へ新入塾生の勧誘に努めた。
- * 各教養講座のより一層の活性化を図る為、師範・顧問・塾生が各講座の意義を共通認識して、積極的に参加を呼びかけた。

③塾生委員会が主催する年間行事の指導

- * 各寮塾生代表者、各寮長、塾役職員による全塾会議を年間3回開催し、日常生活への指導を含め行った。
- * 各行事（体育祭・塾祭等）に関しては、その目的・意義を認識させ塾生が主体性をもって企画、実施、反省を行なうよう指導した。

④一年生面談及び年末一・二・三年生継続面接の実施

- * 寮長、副寮長が、塾生と個別に面談し、それぞれの生活実態について話し合い、より人間的な成長を促した。

具体的には、6月～7月にかけて新入塾生と面談し、面談内容をそれぞれの父母へ、大学生として初めて共同生活を体験したことにより起きた心の変化や成長を伝えた。また、12月～1月にかけては一年生、二年生、三年生と対話し、自分の役割や学年毎の役割を気づかせるとともに継続在塾の意志を確認している。

⑤寮長及び副寮長による塾生委員会活動への参加

*各寮委員会の会議、各寮総会への参加並びに日常生活での場面を捉えて行なった。

⑥塾誌「和敬」の発行

*「和敬塾 創立60周年記念塾祭 特集号」として塾誌「和敬97号」を発行した。

⑦外部との交流活動への支援

*7月7日～8日にかけて、中華民国大学生訪日研修団と当塾塾生との交流合宿が和敬塾本館にて行なわれ、塾内見学、茶道体験、歓迎夕食会、討論会などを通して文化交流を行なった。

⑧塾友会（塾OB会）との各種情報交換並びにイベントの共同企画

*和敬塾卒塾生のOB会である塾友会との連携を深めるため緊密な情報交換を行うとともに、「賀詞交歓会」、「ホームカミング大会」等への協力も行なった。

⑨所轄官庁の協力による防災活動

*必要に応じて大塚警察署並びに小石川消防署、小石川保健所等から助言を受け防災体制の確立に努めた。

*防災倉庫、備蓄食糧庫、災害時用諸機材の点検などを定期的に行なっている。

⑩地域社会との交流を目指した近隣文化活動等の実施

*塾生の地域社会に対する奉仕の実践の場として、地域の美化活動等を行なった。

*塾で開催される講演会等を積極的に公開した。

(3) 講演会、講座、討論会等の開催（3号事業）

①入塾式、塾祭、体育祭、予餞会での記念講演

*後述の通り、各界の有識者をお招きして開催した。

②役職員並びに講師と塾生代表との懇親会

*新・旧塾生委員会会議、講演会等の終了後、質疑応答を兼ねて行なった。

③講演会、シンポジウム等の活性化

*講演会並びにシンポジウムでは、質疑応答の時間や講師との対話をする場を設けた。

*異寮寮生による、学部生も参加できる研究発表会等を行なった。

*シンポジウムは塾友会と共同で企画・実施した。

④別冊「和敬」による講演記録の発行

*別冊「和敬」第46号として、東京大学名誉教授 月尾嘉男先生による予餞会記念講演「地域から変革する日本」、第47号として、東京大学名誉教授 木村清孝先生による「君たちに期待するもの—学ぶこと・知ること・行うこと—」を発行した。

*現在、別冊「和敬」第48号として、小説家 誉田龍一先生による秋季シンポジウム「人生の可能性」を作成中である。

⑤ホームページ等による和敬情報の発信

*塾生の日常生活や各種行事の掲載を適時更新し、情報発信力を高めている。

*情報発信力を高めるため、既存のホームページのほか、和敬塾公式 facebook を開設した。

*ご父兄・受験生の和敬塾に対する理解を深めるため、和敬塾の特色を1ページにまとめた「和敬塾への入塾について」並びに塾内環境の紹介をホームページに追加した。

- *寮毎に、塾生によるホームページ・blog を公開し、寮生活の情報を発信している。
- ⑥三・四年生の為の企業説明会並びにマナー講習会
 - *企業説明会を計5回にわたり開催した。協力していただいた企業は、東レ(株)、大成建設(株)、奈良県庁、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、大阪ガス株式会社である。
 - *就職支援活動の一環として、佐倉摩耶先生をお招きし2月20日、2月22日、2月23日にわたり「男の身だしなみ講座」と題してマナー講習会を行った。マナー研修会は一昨年からはじめて今年で3年目だが、毎年、参加した塾生から好評である。

(4) 奨学金の貸与 (4号事業)

- ①学部生6名、大学院生4名、計10名に貸与した。

(5) 東京都指定有形文化財「旧細川侯爵邸」の保存並びに活用 (5号事業)

- ①本館文化財指定に基づく一般公開
 - *概ね各月2回程度を目処とした自主公開並びに東京都主催による文化財ウィークにおいて一般公開を行なった。参加者は、延べ460名であった。
- ②簡易工事の為の調査
 - *石製窓枠等、劣化個所の調査を行い、東京都並びに文京区と修復の為の協議を行った。

(6) その他、第4条の目的を達成するために必要な事業 (6号事業)

- ①塾生募集活動
 - *塾友からの支援、塾生の勧誘を通して行った。
 - *ユニライフ「学生下宿年鑑」掲載、東大生協主催「住まい探し相談会」へ参加した。
 - *塾生が在籍していた高校、塾友が多い高校等、合わせて296校に学部生用パンフレットを送付した。
 - *塾生の親御さん世代である昭和59年～平成5年卒塾生、約500名にパンフレットを送付した。
 - *早稲田大学ホームページに、和敬塾のリンクが復活した。
 - *平成28年4月14日TBS「Nスタ」、平成28年7月3日テレビ朝日「はくがある」での和敬塾紹介へ協力した。
 - *塾生の出身が多い地方都市で新聞折り込みチラシ(B4版カラー両面、2月19日に20万部、3月11日に6万6千部)を配布した。
 - *同上のチラシを用い、早稲田大学の受験日に受験生と父母に向けて配布を行った。
 - *「UNIVプレス」誌(高校進路担当者の情報誌)に和敬塾の広告を掲載し、これに連動してインターネットバナー広告を行った。
 - *サンデー毎日3月7日号「私大合格発表総集編」に広告を掲載した。
 - *代々木ゼミナール本部校並びに河合塾に和敬塾チラシの設置をお願いした。
 - *和敬塾を身近に感じてもらい応募につなげるため、「和敬塾だより」(新入塾生号、卒塾生号)を発行し、御父母、出身高校、塾友会幹部に送付した。
 - *留学生募集のため、東京工業大学、早稲田大学、明治大学、上智大学、学習院大学を訪問した。
 - *上智大学の留学生ショートプログラムの住居案内で和敬塾を紹介して頂けることになった。

②地積確定

* 文京区立新江戸川公園（現：肥後細川庭園）の改修工事に伴い、当該箇所の隣地境界に関する協議を行っている。境界画定は平成29年度になる予定である。

③60周年記念事業

* 「和敬塾 創立60周年記念塾祭 特集号」として塾誌「和敬97号」を発行した。

* 創立60周年塾祭記念講演、石田寛人先生講演録を同上塾誌「和敬97号」に掲載した。

(7) 平成28年度年間事業実施経過

月	日	全塾	年間行事・催事					
			東寮	西寮	南寮	北寮	乾寮	巽寮
4	初旬 10 15	入塾選考面接終了(留学生) 入塾式・記念講演 評議員会	新入寮生受入行事 入塾式(南寮担当)					
			花見 新入塾生歓迎会(委員会主催) 受入行事反省会(委員会) 寮内環境整備(全員) 班会議 塾祭準備			歓迎会(BBQ)他	合同ハイキング 受入行事委員会総括	新入生受入行事 留学生面接 委員会総会(前期活動方針等)
5	3~ 9 15 23~ 26	ボイラー点検 害虫駆除 塾祭・三年生劇・記念講演 消防設備点検 空調機点検	塾祭式典(東寮担当) 三年生劇(東寮担当)					異寮研究発表会(5/10) 部屋移動希望調査・移動 芋煮会予行演習
			山の手一周ハイキング フレッシュマン劇 塾祭反省会(委員会) 寮内環境整備(全員) 班会議 近隣清掃(厚生部)	山の手一周ハイキング フレッシュマン劇 班シャッフルイベント	フレッシュマン劇	職員体制の変更 コーネル大学一行来塾 体育祭打合せ	山の手一周ハイキング フレッシュマン劇 乾文學5月号発刊	
6	7 " 10 11 13 " 23 24 27	理事会(決算等) 前年度募集活動総括 留学生募集開始(9月生) 春季シンポジウム 日本人募集開始(秋入塾生) " 募集会議 募集会議 エレベーター点検 評議員会(決算等)	シンポジウム 寮長・副寮長による新入生面談					部屋移動
			受入行事総括(委員会) 寮内環境整備(全員) 留学生交流懇親会(国際部) 班会議	中間西寮会議(活動レビュー) 熊本地震支援ボランティア	山の手一周ハイキング	山の手一周ハイキング	寮生・職員懇親BBQ会	
7	上旬 2 5~ 11 16 21	塾誌「和敬」97号発行 秋卒塾予餞会 アルコール自粛週間 防災訓練 募集会議	7~8日華学生交流会(乾寮担当) 一年生父母への近況報告					異寮研究発表会
			前期委員会活動総括 寮内環境整備(全員) 近隣清掃(厚生部) 班会議	西寮会議 西寮総会(後期委員会候補選出) 熊本地震支援ボランティア 流し素麺イベント	新入生歓迎ライブ	寮長懇談会 三位一体会議 北寮大掃除	前期テスト集中月間 委員会大掃除	
8	上旬 8~ 21 30	次年度募集資料作成開始 受水槽点検(断水) 食堂厨房清掃殺菌 ボイラー点検	塾生募集協力(在塾生母校訪問)					
			寮周辺環境整備 後期委員会メンバー選出 後期委員会と方針すり合わせ	西寮旅行	南寮納涼祭	寮周辺環境整備 北寮和敬合宿 体育祭合宿(2泊3日)	乾文學8月号発刊	体育祭参加種目の打合せ 大素麺大会
9	初旬 6~ 25 26 28 下旬	留学生入塾面接 体育祭 体育祭本祭 簡易専用水道点検 エレベータ点検 日本人入塾面接(秋入塾生)	体育祭結団式 体育祭(西寮担当) 後期委員会発足					
			東寮後期総会 寮内環境整備(全員) 班会議 体育祭実行会議(体育部)	西寮会議、西寮総会 (後期事業計画策定) 就職セミナー(森ゼミ) 寮事務所・委員会懇親会	寮生総会及び後期委員長選出	全塾体育祭準備会議 寮長懇談会	乾寮生総会(後期事業計画 前期事業報告・次期委員長 及び部長選出) 秋入塾留学生・ 日本人歓迎パーティ	異会総会 (巽会次期代表・役員立候補者募集・ 決算・予算承認) 大芋煮会

			東寮	西寮	南寮	北寮	乾寮	巽寮	
10	4	募集会議 (H29 年度募集要項決定)	16日全塾研修・新旧交代式						
	25 29	募集会議 ホームカミング大会	体育祭反省会 (委員会) 寮内環境整備 (全員) 班会議 東寮感謝祭 (総務部)		体育祭反省会	体育祭反省会 寮運営会議 予餞会準備 北寮総会 (委員長選出)		秋期新留学生面接、受入れ	
11	2~ 14~ 17~	受電設備点検 消防設備点検 空調機点検	在塾生継続面接開始						
	26 下旬 29	秋季シンポジウム 次年度募集資料送付 (高校等) ボイラー点検	予餞会準備 (総務部) 近隣清掃 (厚生部) 寮内環境整備 (全員) 留学生交流会 (国際部) 班会議	班イベント (談話会)	後期中間総会	予餞会準備 (文化総務部) 寮運営会議 北寮総会 (国際部・厚生部活動) 新入生受け入れ行事改革着手	1・2・3年生学生会開始 (受入) 次年度募集入塾面接開始 乾文學 11 月號発刊 BBQ 会実施	巽寮研究発表会 部屋移動希望調査・移動	
12	初旬 11 14 23 29	入塾面接開始 予餞会・記念講演 エレベータ点検 餅つき大会 食堂厨房清掃殺菌	予餞会 (北寮担当)						
			在塾生継続面接						
1	12~ 15~ 19 中旬 下旬 30 31	東寮防水工事 ハーバード大学グリークラブ受入 在塾生継続面接終了 継続面接総括会議 理事会 (予算等) 理事会	17~18日全塾研修						
			寮内環境整備 (全員) 卒業退塾予定の確認 班会議 一年生会、二年生会開催 (全塾研修に向けての討議)	西寮旅行	卒塾生歓送ダンスパーティー 卒業退塾予定確認 部屋移動申請と調整 塾生募集協力 (在塾生母校訪問) 前期委員長選出	寮運営会議 在塾生継続面接終了	委員会大掃除 四年生劇	巽寮生継続面接・アンケート	
2	12~ 15~ 19 中旬 下旬 30 31	東寮防水工事 ハーバード大学グリークラブ受入 在塾生継続面接終了 継続面接総括会議 理事会 (予算等) 理事会	8日鏡開き						
			部屋移動開始						学部生寮からの新入寮生申込受付 巽寮研究発表会
2	2 3 中旬 12 14 下旬 28	特殊建物点検 節分 (各寮豆まき実施) マナー講習会 (20・22・23) 塾友による講演会 空調機点検 修士生異寮へ移動 ボイラー点検	前期委員会発足						
			24日全塾会議・新旧交代式						
3	1 4 11 16 18 下旬 下旬 24 28~ 31	修士生異寮へ移動 塾友による講演会 塾友による講演会 エレベータ点検 教養講座顧問・部長会議 新入塾生歓迎方針の最終打合わせ 入塾選考面接終了 (日本人) 新入塾生入寮日・歓迎行事開始 理事会 新入生入寮 入塾オリエンテーション	部屋移動						学部生寮からの新入寮生面接 新入寮生入寮ガイダンス (内部生)
			寮内環境整備 (全員) 学年別集会の開催 (一、二年生) 新入生募集活動 四年生お別れ会、班会議 前期委員会と方針すり合わせ	マナー講習会参加	新三年生会 新入塾生居室準備 卒塾記念海外旅行	新入塾生居室準備 全塾研修 専務懇談会 (3年生)	乾寮生総会 (受入行事打合せ・後期種別報告・ 次期委員長選出) 一年生会 新入塾生居室受入準備		
3	1 4 11 16 18 下旬 下旬 24 28~ 31	修士生異寮へ移動 塾友による講演会 塾友による講演会 エレベータ点検 教養講座顧問・部長会議 新入塾生歓迎方針の最終打合わせ 入塾選考面接終了 (日本人) 新入塾生入寮日・歓迎行事開始 理事会 新入生入寮 入塾オリエンテーション	新入塾生入寮・受入行事開始						新入塾生入寮
			東寮総会 受入行事準備 新入塾生居室準備 寮内環境整備 (全員) 班会議	西寮会議 西寮総会 (29 年度事業計画策定) 新入寮生受入準備 新入寮生歓迎行事スタート	新入塾生入寮・受入行事開始 新入塾生居室準備 受入行事最終打合せ 新四年、二年生への受入説明会 学年末大掃除	各学年会 (新入生受入れ準備) 北寮総会 (委員長選出) 北寮総会 (受入行事輔明・承認) 寮運営会議 専務懇談会 (2年生・1年生)	前期委員会発足・乾寮生集会 (前期活動計画、受入行事) チューター選任・委員会大掃除 新入生入寮 (3/28~30) 寮ガイダンス実施 (3/31) 乾文學 3 月號発刊	新入寮生受入準備 留学生及び外部からの新大学院生面接・入寮 巽寮総会 (次期役員選出・予算案・決算) 卒塾生送別パーティ	

(8) 講演会、シンポジウム、セミナー、文化活動

年 月 日			
平成 28. 4. 10 入塾式 記念講演会	演題 講師	君たちに期待するもの 一学ぶこと・知ること・行うこと— 東京大学名誉教授	木 村 清 孝
平成 28. 5. 15 創立記念塾祭 記念講演会	演題 講師	君は、どう生きるのか 富士フィルムホールディングス (株)、富士フィルム (株) 代表取締役会長・CEO	古 森 重 隆
平成 28. 6. 11 春季 シンポジウム	演題 講師	ドキュメンタリー映画「人間の戦場」 フォトジャーナリスト	広 河 隆 一
平成 28. 11. 26 秋季 シンポジウム	演題 講師	人生の可能性 小説家	誉 田 龍 一
平成 28. 12. 11 予餞会 記念講演会	演題 講師	変革の時代に挑む 株式会社みずほ銀行 取締役頭取	林 信 秀
平成 29. 2. 12 塾友による 講演会	演題 講師	和敬塾と我が人生 タカノフーズ会長	高 野 英 一
平成 29. 2. 12 塾友による 講演会	演題 講師	人生の学び舎 和敬塾 NHK解説委員	早 川 信 夫
平成 29. 3. 4 塾友による 講演会	演題 講師	和敬塾が造ったわたし 小説家	誉 田 龍 一
平成 29. 3. 11 塾友による 講演会	演題 講師	平時の改革 東京海上ホールディングス 取締役会長	隅 修 三
平成 29. 3. 11 塾友による 講演会	演題 講師	未来へ サッポロホールディングス 代表取締役会長	上 條 努

(9) 教養講座

一流講師の直接指導を受けて、合宿や会食も取り入れ、お互いに切磋琢磨をはかっている。実施した講座と講師は下記の通り。

(講 座 名)	(講 師)	(講 座 名)	(講 師)
茶 道	江川 宗京	棋 道	津村 勲夫
空 手 道	岡 精近	書 道	岡本 光平
中国古典輪読会	信夫 息游	居 合 道	山崎 誉
直心影流法定	〃	絵 画 研 究 会	上葛 明広
剣 道	塚本 博之	坐 禅	高石 昭二郎
柔 道	柏崎 克彦	グレートブックス研究会	犬塚 潤一郎

(10) 入塾選考

入塾選考は、入塾願書による選考の後、塾設立の趣旨、塾生活の内容を説明し、理解させた上で面接または書類選考を行ない、入塾を決定している。なお、平成28年度の新入塾生は日本人新入生62名（春：新一年50名、新二年4名、新三年1名、院生6名 秋：院生1名）、日本人再入塾7名、留学生57名の計126名であった。なお、平成27年度の新入塾生は日本人新入生75名（春：新一年67名、新二年2名、院生3名 秋：新一年1名、院生2名）、日本人再入塾11名、留学生44名の計130名であった。

(11) 留学生への援助

平成28年度は、107名の留学生が在籍し、日本人塾生との共同生活並びに行事や教養講座への参加・活動を通して、日本文化への理解を深めている。尚、平成27年度は111名の留学生が在籍した。（4ヶ月程度の短期生も含む）

大学別塾生数一覧表

(平成28年4月1日現在)

No	大 学	一年生	二年生	三年生	四年生	大学院等	留学生	合 計
1	早稲田大学	15	23	21	35	15	37	146
2	上智大学	1	2	1	1	0	23	28
3	東京大学	3	6	3	4	8	2	26
4	明治大学	5	6	4	5	3	0	23
5	日本大学	4	4	3	2	0	0	13
6	法政大学	2	3	4	3	0	0	12
7	学習院大学	3	3	1	2	0	2	11
8	立教大学	1	1	2	5	1	0	10
9	慶應義塾大学	3	0	2	4	0	0	9
10	東京理科大学	3	0	2	0	3	0	8
11	中央大学	0	0	4	1	1	0	6
12	成蹊大学	1	2	0	2	0	0	5
13	青山学院大学	3	1	0	0	0	0	4
14	駒澤大学	0	1	2	1	0	0	4
15	東洋大学	0	1	2	1	0	0	4
16	國學院大学	1	0	0	2	0	0	3
17	芝浦工業大学	1	0	1	0	0	0	2
18	成城大学	0	0	2	0	0	0	2
19	東京海洋大学	1	1	0	0	0	0	2
20	東京工業大学	0	0	0	0	2	0	2
21	東京農業大学	0	1	1	0	0	0	2
22	神田外語大学	0	1	0	0	0	0	1
23	国土舘大学	1	0	0	0	0	0	1
24	専修大学	0	0	1	0	0	0	1
25	拓殖大学	1	0	0	0	0	0	1
26	帝京平成大学	0	0	1	0	0	0	1
27	電気通信大学	0	0	1	0	0	0	1
28	東海大学	0	0	0	1	0	0	1
29	東京歯科大学	0	1	0	0	0	0	1
30	東京電機大学	0	0	0	0	1	0	1
31	東京農工大学	0	0	0	1	0	0	1
32	二松學舎大学	0	0	1	0	0	0	1
33	日本医科大学	1	0	0	0	0	0	1
34	武蔵大学	0	0	0	1	0	0	1
35	武蔵野大学	0	0	1	0	0	0	1
36	明治学院大学	0	0	1	0	0	0	1
37	目白大学	0	0	1	0	0	0	1
38	立正大学	0	0	1	0	0	0	1
39	アメリカ・カナダ大学連合 日本研究センター	0	0	0	0	0	1	1
合 計		50	57	63	71	34	65	340
昨 年 度		67	70	77	74	30	77	395

2. 処務の概要

役員等に関する事項

(平成29年3月31日現在)

役職名	氏名	就任年月日	担任職務	常勤・非常勤
理事	前川正雄	H24. 2. 1	理事長	非常勤
〃	前川昭一	〃	塾長	非常勤
〃	佐藤一義	H25. 11. 1	専務理事	常勤
〃	栃木弘義	H24. 2. 1	常務理事	〃
〃	岩崎嘉夫	H24. 2. 1		非常勤
〃	奥島孝康	H24. 9. 24		〃
〃	松原達哉	H24. 2. 1		〃
〃	藁谷友紀	〃		〃
〃	上田清	H27. 6. 23	乾寮寮長	常勤
〃	柳川邦衛	H27. 6. 23		非常勤
〃	岩木勅一	H28. 6. 27	南寮寮長	常勤
監事	笠原將敏	H24. 2. 1		非常勤
〃	山内豊	〃		〃
評議員	加藤英二	H24. 2. 1		非常勤
〃	河合素直	〃		〃
〃	田島信元	〃		〃
〃	細越峻	〃		〃
〃	前川正	〃		〃
〃	松岡章次	〃		〃
〃	宮野忠夫	〃		〃
〃	渡邊重範	〃		〃
〃	石光豊	H27. 6. 23		〃
〃	太田朝生	〃		〃
〃	福原毅	〃		〃

3. 役員会等に関する事項

(1)理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 28. 6. 7	1. 公益財団法人 和敬塾平成 27 年度事業報告並びに決算報告の承認に関する件	原案どおり可決
	2. 石崎理事の任期満了に伴う次期理事候補者の承認に関する件	原案どおり可決
	3. 「前川奨学金規定」の変更の承認に関する件	原案どおり可決
	4. 定時評議員会招集に関する件	原案どおり可決
	5. 平成 27 年度資産取得積立資産及び長期修繕積立資産の積立額並びに平成 28 年度資産取得積立資産取崩（追加）の承認に関する件	原案どおり可決
	6. 塾の現状報告	報告事項
平成 29. 1. 30	1. 自動販売機手数料等収益を収益事業として変更認定を申請する事について	原案どおり可決
	2. 平成 28 年度収支見込を別紙-1 とする事について	原案どおり可決
	3. 平成 28 年度資産取得計画を別紙-2 により修正する事について	原案どおり可決
	4. 平成 29 年度事業計画を別紙-3 とする事について	原案どおり可決
	5. 平成 29 年度収支予算を別紙-4 とする事について	原案どおり可決
	6. 平成 29 年度長期修繕計画並びに資産取得計画を別紙-5 及び 6 とする事について	原案どおり可決
平成 29. 1. 31	1. 塾則の一部変更に関する件	原案どおり可決
平成 29. 3. 24	1. 理事 1 名選任に関する件	原案どおり可決
	2. 臨時評議員会招集に関する件	原案どおり可決
	3. 公益財団法人和敬塾業務執行理事（常務理事）選定に関する件	原案どおり可決
	4. 任期満了に伴う次期理事候補者の推薦に関する件	原案どおり可決
	5. 塾の現状報告に関する件	報告事項

(2) 定時評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 28. 4. 15	1. 「公益財団法人和敬塾 定款」の変更の件	原案どおり可決
	2. 「公益財団法人和敬塾 役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程」の変更の件	原案どおり可決
平成 28. 6. 27	1. 公益財団法人和敬塾 平成 27 年度事業報告に関する件	報告事項
	2. 公益財団法人和敬塾 平成 27 年度決算報告の承認に関する件	原案どおり可決
	3. 石崎理事の任期満了に伴う次期理事の選任に関する件	原案どおり可決
	4. 「前川奨学金規定」の変更の承認に関する件	原案どおり可決
	5. 塾の現状報告に関する件	報告事項

4. 附属明細書

平成 28 年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項にて規定される「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、附属明細書は作成しない。